

(社) 日本雪氷学会北海道支部 2007 年度事業報告

1. 春の講演会の開催

日 時 : 2007 年 4 月 26 日 (木) 13 時 30 分～15 時 30 分

場 所 : 北海道大学 学術交流会館 第一会議室

講 演 :

1. 「雪のある生活とアート」

原 文宏 氏 (社団法人北海道開発技術センター 理事)

2. 「海水生成が駆動する海洋中深層循環とその変動」

大島 慶一郎 氏 (北海道大学低温科学研究所 准教授)

2. 支部総会

日 時 : 2007 年 4 月 26 日 (木) 15 時 40 分～16 時 10 分

場 所 : 北海道大学 学術交流会館 第一会議室

- 議 題 : (1) 2006 年度事業報告・収支決算報告・監査報告
(2) 2007 年度支部役員について
(3) 2007 年度事業計画案と収支予算案
(4) 支部財政の健全化について (機関誌の電子化)
(5) その他

3. 理事会と幹事会の開催

3-1 第 1 回理事会・幹事会の合同開催

日 時 : 2007 年 4 月 26 日 (木) 16 時 10 分～17 時 30 分

場 所 : 北海道大学 学術交流会館 第一会議室

- 議 題 : (1) 北海道の雪氷の電子化について
(2) 日本雪氷学会北海道支部創立 50 周年記念事業について
(3) 社会貢献事業について
(4) その他

3-2 第 2 回理事会の開催

日 時 : 2007 年 11 月 13 日 (火) 18 時 00 分～20 時 00 分

場 所 : (社) 北海道開発技術センター 9F 会議室

- 議 題 : (1) 雪氷災害緊急調査チームの創設について
(2) 道支部 50 周年記念事業の実施について
(3) 社会貢献グループからの企画案について
(4) その他

- 報告事項: (1) 研究発表会
(2) 電子出版
(3) 地域講演会の予定
(4) 会計状況
(5) 会費未払い会員への対応

3-3 第3回理事会の開催

- 日 時 : 2008 年 4 月 3 日 (木) 16 時 00 分～18 時 00 分
場 所 : 北海道道路管理技術センター会議室
議 題 : (1) 2007 年度事業報告・収支決算
(2) 2008 年度支部役員について
(3) 2008 年度事業計画案・収支予算案
(4) 支部規約の見直し
(5) 著作権の本部移譲
(6) 北海道支部創立 50 周年記念事業委員会について
(7) その他

3-4 第2回幹事会の開催

- 日 時 : 2007 年 6 月 21 日 (木) 12 時 00 分～13 時 00 分
場 所 : 北海道大学 学術交流会館 第一会議室
議 題 : (1) 自己紹介, 役割確認
(2) Home Page, News Letter, Mailing List の整備状況
(3) 研究発表会に関する問題整理
(4) 会誌 (電子体, 印刷体) 発行に関する問題整理
(5) 地域講演会の準備
(6) その他

4. 研究発表会の開催

- 日 時 : 2007 年 6 月 21 日 (木) 10 時 00 分～18 時 30 分
場 所 : 北海道大学 学術交流会館 第一会議室
内 容 : 研究発表 26 件 参加者 87 名

5. 支部機関誌「北海道の雪氷」の No. 26 の発刊 (電子出版)

【電子出版概略】

- ・ 道支部ホームページ上への電子化出版 (アクセス無料)
- ・ 冊子体は有料配布
- ・ これまでの寄贈団体 (特別・賛助・購読会員) のうち配布希望団体へは無料配布を継続

【経費節減効果】

表は 2005 年度～2007 年度の機関誌発行に係わる決算額の比較である。従来, 機関誌発行で約 19 万円の赤字が発生したが, 2007 年度は約 1 万円の黒字に転じることができた。

表 機関誌発行に係わる決算額の比較

		2005 年度決算	2006 年度決算	2007 年度決算
収 入	合計	193,000	161,500	164,500
	広告収入	62,000	57,000	0
	出版収入	131,000	104,500	164,500
支 出		378,970	347,235	155,414
収 支		▲185,980	▲185,735	9,086

6. 地域講演会

日 時： 2007 年 12 月 8 日（土） 13:20～16:20

場 所： 函館市民会館 大会議室

テーマ： 北国に生きる～雪氷圏の海，生活，歴史を学ぶ～

主 催： （社）日本雪氷学会 北海道支部

共 催： （社）土木学会 北海道支部

後 援： 函館市

参加者： 51 名

講 演：

「北国の冬の雪氷環境と私たちの生活～自然と人の共生を考える～」

秋田谷英次氏（NPO 法人雪氷ネットワーク）

「亜寒帯の海洋環境と生物生産～北の海が育む海の幸～」

齊藤誠一氏（北海道大学大学院水産科学研究院）

「文明開化のサクセス・ストーリー～函館氷の誕生～」

猪上徳雄氏（函館短期大学）

7. 積雪調査法講習会

実施せず

8. 雪氷災害調査チームの創設および活動

2007 年 11 月 13 日 理事会で設立を承認

2007 年 11 月 14 日 雪氷災害調査チームメーリングリスト開設（チーム専用）

2007 年 11 月 17 日 上ホロカメットク山下降ルンゼ雪崩調査

2007 年 11 月 19 日 雪氷災害調査チーム HP 開設

2007 年 11 月 20 日 HP で警告「2007 冬：十勝連峰の雪は不安定 入山者は注意を！」

2007 年 11 月 25 日 上ホロカメットク山化物岩雪崩調査

2007 年 12 月 6 日 上ホロカメットク山下降ルンゼ雪崩調査報告（HP 公開）

2007 年 12 月 7 日 上ホロカメットク山化物岩雪崩調査報告（HP 公開）

2008 年 3 月 11 日 自然災害研究協議会北海道地区防災フォーラム

「雪崩災害をなくすには－雪氷災害調査チームからの報告－」開催

9. 北海道支部創立 50 周年記念事業準備委員会の活動

- 2007 年 4 月 26 日 理事会で「北海道支部創立 50 周年記念事業準備委員会（準備委員会）」設置を承認
- 2007 年 5 月 17 日 準備委員会活動開始
- 2007 年 11 月 12 日 最終答申案作成
- 2007 年 11 月 13 日 第 2 回理事会にて 50 周年記念事業の大枠を審議・了承
- ・ 今後「北海道支部創立 50 周年記念事業委員会」を立ちあげる
 - ・ 記念事業委員会の委員の選任については山田支部長に一任

【最終答申案概要】

基本的なコンセプトとして、創立 50 周年事業は実施すべきであるが、時代背景を鑑みて多額の資金を要するような事業ではなく、身の丈にあった記念事業にする。

10. ニュースレターの発行

ニュースレターNo. 26 (2007/6/13 発行) :

北海道支部 2007 年度研究発表会(2007. 6. 21)のお知らせ

北海道支部 2007 年度役員

日本雪氷学会全国大会のお知らせ

ニュースレターNo. 27 (2007/11/16 発行) :

平成 19 年度 (社) 日本雪氷学会 北海道支部 地域講演会のお知らせ

ニュースレターNo. 28 (2007/12/23 発行) :

平成 19 年度第 2 回理事会における重要決定事項の通知

ニュースレターNo. 29 (2008/3/5 発行) :

2008 年度日本雪氷学会北海道支部 春の講演会のお知らせ

2008 年度日本雪氷学会北海道支部総会のお知らせ

2008 年度日本雪氷学会北海道支部 研究発表会のお知らせ

2007 年度雪氷関連学位論文調査のお願い

11. 支部ホームページの運営

- ・ 雪氷関連情報の提供
- ・ 会員向け情報の掲載
- ・ コラムやエッセイ等の充実
- ・ 質問コーナーの開設
- ・ メーリングリストの整備

会員向け情報（総会や講演会、研究発表会など）を支部ホームページに掲載する毎に、メーリングリスト (hokkaido@seppyo.org) を使って会員にホームページへのアクセスを促すサービスをおこなった。メーリングリストの登録者数は、211 名（全会員 239 名：2007 年 5 月 31 日現在）であり、メールアドレスを持たない会員に対しては、従来通り郵送で連絡をおこなっている。

12. 雪氷関連行事の共催・後援（開催順）

12-1 2008 科学探検ひろば

日 時： 2008 年 1 月 12 日～13 日 10:00～16:00
場 所： 旭川市科学館サイパル
主 催： サイエンスボランティア旭川，旭川市教育委員会(主管：旭川市科学館)
共 催： NHK旭川放送局
後 援： 日本雪氷学会北海道支部，応用物理学会北海道支部
日本化学会北海道支部，日本生化学会北海道支部
日本動物学会北海道支部，日本物理教育学会北海道支部
旭川観察実験サークル「ネットワークはてな2000」
内 容： サイエンスボランティア旭川の会員や
市内の理科教諭・高校生・大学生たちが様々なブースを出店
いろいろな実験・工作を楽しみながら体験

12-2 雪と氷を楽しむ会 in 小樽市総合博物館

日 時： 1 回目：2008 年 1 月 14 日 10:00～16:00
2 回目：2008 年 2 月 11 日 10:00～16:00
場 所： 小樽市総合博物館
主 催： 小樽市総合博物館
共 催： 日本雪氷学会北海道支部
協 力： 日本気象協会北海道支社
内 容： 雪氷学会北海道支部の会員を中心にして
博物館の館内，野外の会場で，研究者自身が実験，演示，展示

12-3 土木学会北海道支部講演会「冬期道路交通を考える」

日 時： 2008 年 3 月 3 日 13:30～16:30
場 所： (独) 土木研究所寒地土木研究所 1F 講堂
主 催： 土木学会北海道支部，地盤工学会北海道支部
共 催： 日本雪氷学会北海道支部
土木研究所寒地土木研究所 (第 23 回寒地道路連続セミナー)
北海道土木技術会道路研究委員会
内 容： 札幌都市圏の冬期道路交通に携わる行政，研究機関，学識経験者から
冬期道路交通の課題と最新の取り組み状況を紹介

12-4 自然災害研究協議会北海道地区防災フォーラム

「雪崩災害をなくすにはー雪氷災害調査チームからの報告ー」

日 時： 2008 年 3 月 11 日 (火) 13:30～17:00
場 所： 北海道大学 百年記念会館大会議室
主 催： 自然災害研究協議会北海道地区部会，日本雪氷学会北海道支部
内 容：

■趣旨説明

「雪氷災害調査チーム発足の経緯と目的」

山田知充 (雪氷学会)

■雪氷災害調査チーム活動報告

「11-13 上ホロカメットク山下降ルンゼ雪崩」

八久保晶弘 (北見工大)

「11-23 上ホロカメットク山化物岩雪崩」
「二つの雪崩と 2007-2008 シーズンの十勝山系」
「入山者の動向と雪崩—十勝山系の実態—」
「チームからの社会貢献—Web サイトの活用—」

■総合討論

「コメント 1」
「コメント 2」

樋口和生（雪崩事故防止研究会）
尾関俊浩（道教大岩見沢）
大西人史（三段山クラブ）
澤柿教伸（北大地球環境）

中村一樹（雪氷学会）
秋田谷英次（雪氷学会）